

## サテライト接続とは

“サテライト接続”とは、フルレンジのスピーカーをサテライト端子を介してサブウーファーと接続する方法のことをいいます。これにより、アンプの使用チャンネル数を最小限に抑えてシステムを組むことが可能となります。サテライト接続時にはハイパスフィルターが設定されるため、サテライトスピーカーとサブウーファーが理想的な周波数特性でつながります。

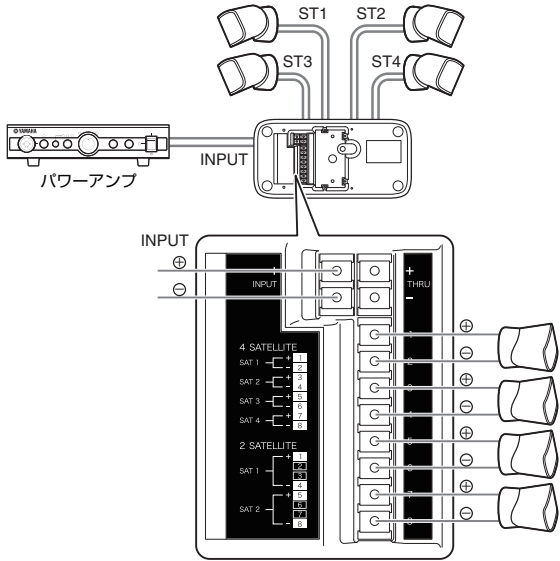
## 推奨サテライトスピーカー

サーフェスマウントスピーカー VXS1MLB/VXS1MLW

## 接続例

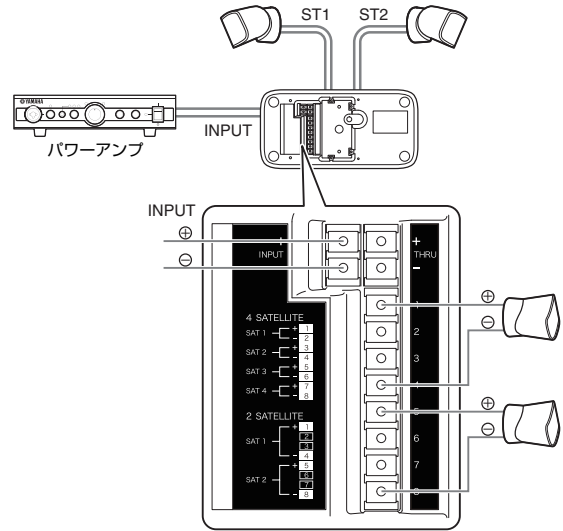
### ■ VXS3S + VXS1ML (4本)

サテライト接続をする際の最も基本的なシステムです。



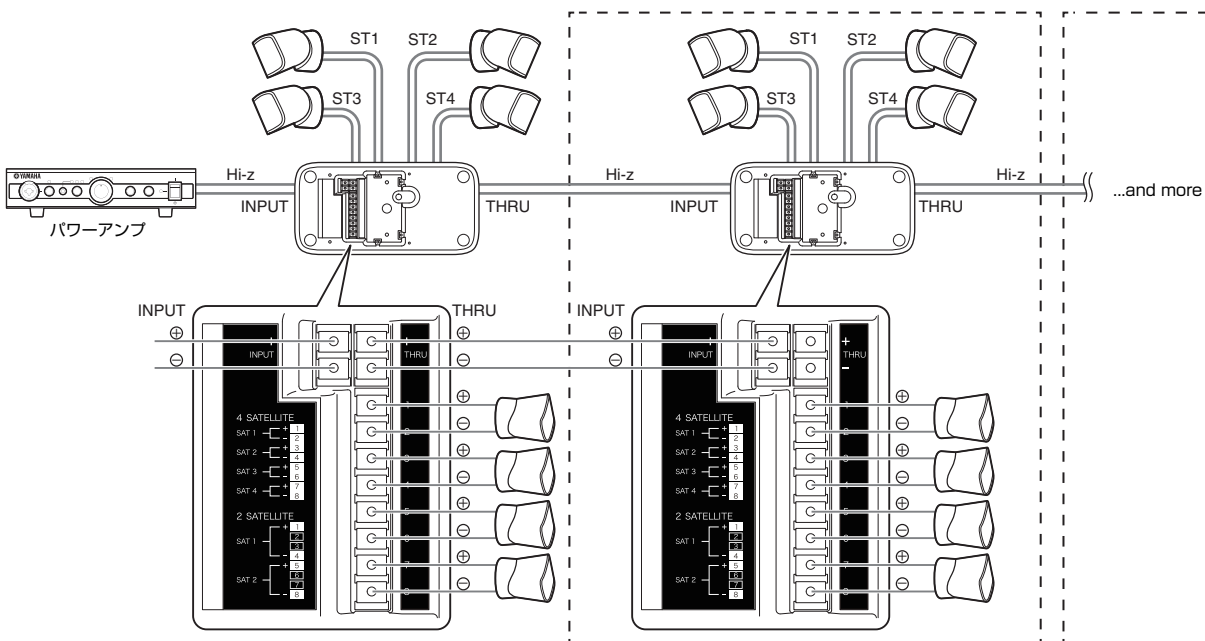
### ■ VXS3S + VXS1ML (2本)

サテライトスピーカーを2本だけ接続する場合のシステムです。



### ■ VXS3S + VXS1ML (4本) ハイインピーダンス接続

サブウーファーでハイインピーダンス接続をする場合のシステムです。また、1つのアンプチャンネルに複数のサテライトシステムを接続できます。VXS3Sのタップ切り替えは、出力に応じて設定してください。



## 注記

- サテライト接続の場合、合成インピーダンスは  $4\Omega$  (サテライトスピーカー4本の場合) または  $3.5\Omega$  (サテライトスピーカー2本の場合) です。ご使用になるパワーアンプが対応していることを確認してください。対応していないアンプをご使用になるとアンプの故障の原因となります。
- ハイインピーダンス接続のときは、パワーアンプの定格出力が接続するスピーカーの入力ワット数の合計を上回るようにしてください。詳細については、以下のURLにあるハイインピーダンス接続の説明をご参照ください。  
ヤマハプロオーディオサイト「商業空間のよりよい音作り」  
[http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/training\\_support/better\\_sound/](http://www.yamahaproaudio.com/japan/ja/training_support/better_sound/)
- スピーカーの取り付け作業は、パワーアンプの電源を切ってから作業してください。